

野あきる協体

第21号

発行 NPO法人あきる野市体育協会 あきる野市二宮683 秋川体育館内
TEL 042-559-1163 ホームページ www.akiruno-taikyo.jp/

平成29年3月1日

体育協会創立20周年 記念式典を開催

体育協会は11月26日あきる野ルピアホールで創立20周年記念式典を開催しました。
平成8年4月に秋川市と五日市町の体育協会が合併して今年で20年の節目を迎えるに
あたり開催したものです。



総合スポーツ祭での選手宣誓

NPO法人あきる野市体育協会は、平成7年9月に秋川市と五日市町が合併したことにより、両市町にあった体育協会も平成8年4月に合併してあきる野市体育協会として発足し、20年の節目を迎えることができました。これも偏に永年にわたり多方面においてご支援、ご指導を賜りました関係各位に對しまして改めて感謝申し上げます次第でございます。

さて、この10年を振り返りますと、まず第1に挙げられますのがNPOの法人格を平成20年に取得したことであります。これにより社会に対する信用と責任が増し、市の体育振興事業も受

(次ページにつづく)



菅沼会長あいさつ

託することができ、スポーツの振興発展に大きく貢献することができました。さらに市営グラウンドの維持管理を市から受託できたことであります。体協では直営するより、主にそのグラウンドを利用する連盟に再委託したほうが効率的な運営ができるのではないかと考えから、いくつかの利用する団体に再委託をしています。

次にあげられるのが、2013年に実施された多摩国体であります。当市で実施した競技は馬術競技、ソフトボール競技、自転車ロードレースでございます。どの競技も大勢の方々が見ようと思われ、普段目にするのでない一流のプレーに目を見張っていました。

また、2017年は多摩地域最大のスポーツイベントである東京都町村総合体育大会をあきる野市が幹事市となつて行われます。多摩は一つの理念のもとスポーツを通じて友情の輪を広げられたいと今から大に期待しています。

これから30年に向けての取り組みについてありますが、ジュニアの育成に力を注いでまいります。当市から育つたアスリートは、関東地区では常勝のオールあきる野女子ソフトボールチームがあげられます。そのほかにも陸上競技や空手道の子供たちも大きく育っています。4年後の東京オリンピックさらには次のオリンピックを目指せ

るジュニア育成に力を注いでまいります。

結びになりますが、NPO法人あきる野市体育協会は、先輩方が築いてこられた歴史と伝統を継承し、将来に向

支えてくださった方々に感謝

式典には、歴代の会長や役員、これまで体育協会を支えてくださった加盟団体の方々、市の関係者、東京都体育協会や各市町村の体育協会の方々総勢128名にご出席を頂き、開催いたしました。

けて新たな基盤づくりのため更なる努力をいたす所存でございます。関係各位におかれましては、今後も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

式典では、菅沼会長の主催者あいさつに続き、澤井市長、町田議長、私市教育長からのご祝辞に続いて、東京都体育協会理事長、東京都町村体育協会連合会会長からご祝辞を頂いた後、祝賀会に入りました。



写真左から菅沼会長、白井前市長、宮林前教育長

祝賀会では白井前市長、宮林前教育長、尾崎副市長、天野福祉文教委員長、篠塚前会長そして菅沼会長による鏡割りが行われ、白井前市長の乾杯で祝宴がスタートしました。14のテーブルを配置した会場は、関連するグループごとに着座し、和やかな祝賀会となりました。また、多くの参加者は20年前の合併当時に思いを馳せ、当時を懐かしんでいました。

西多摩地域行政圏 体育大会

この大会は、西多摩地域の人たちがスポーツを通じ、交流と親睦を深め、地域の活性化を図ることを目的に、毎年開催している大会です。

11月17日の開会式では、西多摩地域体育協会連絡協議会の表彰が行われ、当市からは、テニス連盟の小笠原邦夫さんが西多摩地域のスポーツ振興に尽力があった功績により表彰されました。

競技は11月20日に行われ、当市からは男女合わせて23競技208人が出場しました。成績は、

優勝

バレーボール

バドミントン

ロードレース50歳以上女子・

本多春江さん、

準優勝

ソフトテニス男子・女子

第3位

硬式テニス男子・女子

ゲートボール

インディアアカ女子

卓球男子・女子

軟式野球

剣道・森田慶人さん

第3位まで掲載

なお、グラウンドゴルフは雨天のため中止となりました。

秋川流域 小中学生駅伝大会

12月10日、秋川流域3市町村の小中学生の交流と体力の向上を図ることを目的に小中学生による駅伝大会が都立秋留台公園を中心に開催されました。

今回で6回目となる大会は、小学生74チーム、中学生男子47チームがエントリーし、熱い戦いが繰り広げられました。

小学生の部は、秋留台公園の陸上競技場を半周し、公園内の外周路を1周

してから競技場に戻る1人1・45kmを5人でつなぐコース設定となつています。

中学生の部は、陸上競技場を約半周

し、体育館周辺を走って農道を農業会館に向かい、現在工事中の道路を右折し、五日市街道手前に中継点を設け、

五日市街道を折り返す、往路1.8km、復路2・08kmを男子が3往復、女子が2

往復するコース設定となつています。公道を走る選手の先頭は、福生警察

署の白バイが先導し、選手の安全を守ってくれました。

大会結果は、次のとおりです。

小学生の部(男子)

第1位 本宿ウオーターサプライズ

第2位 五日市小B

第3位 増戸小A

小学生の部(女子)

第1位 増戸小G

第2位 五日市小E

第3位 草花女子

中学生の部(男子)

第1位 あきる野西中A

第2位 東中

第3位 御堂男子A

中学生の部(女子)

第1位 あきる野西中A

第2位 御堂女子A

第3位 御堂女子B

アーチエリー 山本先生 講演会を開催

2月2日、中央公民館で、アーチエリーのロサンゼルスオリンピック銅メダリスト・アテネオリンピック銀メダリストの日体大教授であり、また、東京都体育協会の会長である山本博さんをお招きし、「スポーツの力を信じて」と題して、講演会を開催いたしました。

会場には体育協会に加盟する団体から57人が参加し、熱心に耳を傾けていました。



内容は多岐にわたり、オリンピックの裏事情やアーチエリー選手の世界と日本の育成方法の違いなど興味深い内容でした。

中でも印象に残ったのが、認知症予防についてでした。予防には運動がいいという研究結果が出ており、ウォーキングであれば、1人で歩くより2人で話しながら歩いたほうがより良いという結果が出ている。歩きながら話をするということは体を動かすと同時に脳も動かすことになり、予防効果が上がるというお話でした。質疑時間を10分予定しましたが、20分もオーバーする人気の高さでした。

写真中央は中学生の部女子で優勝した西中A

加 盟 団 体 紹 介

前号に引き続き、協会に加盟している団体を紹介します。団体では皆様の加入を心から歓迎します。

ソフトボール連盟

市内小学生からハイシニアの老若男女・多世代のソフトボール愛好者が多数参加しています。ソフトボールを生涯スポーツとしてとらえ、競技種目には、技術力・運動強度が高いフリーストピッチ競技、安全性を考慮し、運動強度が低く、あまり身体に負担をかけないスローピッチ競技、柔らかなボールを使用するジョイフル競技があり、各種の大会を開催しています。

連盟主催の春季・秋季大会の成績上位のチームは連盟代表として上部団体（東京都、関東、全日本ソフトボール協会主催）の大会に派遣出場し、満足いく結果を収めています。これからソフトボールを始めたい人は大歓迎です。



新しくチームを結成し、連盟に登録する場合は、地域（6地区）に所属する必要があります。また、個人で始めたいという方は、既存のチームを紹介し、詳細は連盟事務局にお問い合わせください。

卓球連盟



当連盟は9団体、163名の会員で構成され、それぞれの会場を拠点に活動しています。また、各団体選出の役員からなる理事会では連盟主催大会の運営や都民大会などの選手選考、体協事業への役員派遣などを協議しています。連盟主催の大会は、年3回の市民大会（団体・個人・ダブルス）と多摩地域の選手を対象にした近郊大会を秋に開催しています。昨年9月に行われた市民大会（個人戦）では、192人の選手の参加がありました。

リオ・オリンピックのメダル獲得で卓球が注目され、市内でも老若男女問わず卓球を楽しむ人達が増えていきます。これらの人々も含め多様な卓球愛好家のために、技術の向上や相互の親睦を深められるよう活動していきたいと考えています。

種目間交流を開催

ジュニア育成推進事業

12月17日に秋川体育館で種目間交流を開催しました。この事業は、ジュニアスポーツのすそ野を広げることとを目的として、種目間の垣根を取り払って運動の基本動作を体験することで、更なる競技力の向上を目指すものです。

内容は、走る（ラダーやミニハードル）、跳ぶ（立ち幅跳やステップ）、投げる（ボール投げ）などの動作をチームに分け、チーム対抗で競うプログラムとなっています。

参加した子供たちは、普段は違う競技を行っている友達とすぐ仲良くなり、楽しんで飛び回っていました。

編 集 後 記

20周年の記念誌を編集しながら感じたことがある。競技団体のすべての頭に「あきる野」をつけて活動の一元化を図ったこと、現在の隆盛をみると創立時の役員諸兄が将来を見据えての強い意志と情熱をもって取り組んでいたことが良くわかる。

そして今私たち体育協会は改めて思う。10年先20年先に向かって、子供たちから高齢者まで全ての世代がスポーツを通して豊かな人生を送れるような環境づくりに取り組んでいかなければならないと。

東海大学

学校法人

菅生学園

☎042-559-0066

菅生高等学校

あきる野市菅生1817

菅生高等学校中等部
菅生学園初等学校

あきる野市菅生1468